

平成18年
(2006)



喜界島

1

発行/鹿児島県喜界町役場 ㊟891-6292 電話0997-65-1111 編集/企画課 印刷/南日本新聞開発センター

No.463



～ヒグルー貫い～

賑やかに厄払い



(写真は3点とも志戸桶集落 1月2日)

今月の紙面

- 2～3面 新年のごあいさつ
- 4～5面 第13回喜界町生涯学習推進会議
- 6～9面 ごみ処理対策委初会合/町成人式/消防出初式/カンキツグリーンング病根絶/糖業総会を相次ぎ開催/生和糖業製糖スタート/池田琉球大教授の講演/総合家庭教育学級/新庁舎開庁は2月6日
- 10～11面 10年後の私へのメッセージ
- 12～15面 まちの話題/保健師だより
- 16～17面 お知らせ/国民年金だより
- 18面 教育委員会のとびら
- 19面 喜界歌壇/わが家のアイドル/戸籍の窓ほか
- 20面 新春の喜界島スナップ集

新年の「いあいわっし

守ろう故郷の美風

築こう心豊かな潤いの喜界



喜界町長 加藤 啓 雄

明けましておめでとございます。新しい年を迎え、謹んで町民の皆様のご健勝をお慶び申し上げます。また、平素より町政の各般にわたり、ご協力賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

昨年からは、建設中でありま
す役場新庁舎は、まもなく完
成いたします。一月初旬に
は、各種業務を新庁舎で行う
予定でございます。敷地、庁
舎面積共に、現庁舎より数倍
広く、コミュニティホール
ル、コミュニティ公園等の
施設を備え、親しみやすく
なっております。五月には、
庁舎落成式を予定しておりま
す。私も新庁舎完成とともに
に、新たな気持ちで町政を担
う所存でございます。

また、本年は、町村合併五
十周年という記念すべき年で
ございます。これまで諸先輩
方が築き上げてきた伝統を大
切に守り、皆様と共により素
晴らしい町を築いてまいりた
いと存じます。

本町の基幹産業である農業
は、本町の地域特性を生か
し、サトウキビを主幹作物に
肉用牛や花卉、果樹あるい
は、野菜等を複合した経営体
系の確立を目指しております。
また、営農集団や大規模
農家の育成、小型ハーベス
タ、大型トラクター、管理作
業機械の計画的導入による機
械化一貫体系の確立を図って
まいります。

昨年は、サトウキビが、台
風14号の被害を受けつつも、
三年ぶりの年内操業に至りま
した。ブリックスも史上二番
目の高さの糖度であります。
サトウキビは、本町の重要な
基幹作物であり、生産量増減
が、本町経済に及ぼす影響

は、計りしれないものござ
います。地域一体となった安
定的な生産体制を確立できる
よう努力してまいります。

ゴマの振興につきまして
は、面積・生産量とも増加傾
向にあります。平成十六年、
三十三[㊦]であった面積が、昨
年は、約三倍に拡大しており
ます。本年も、昨年以上の面
積・生産量が見込まれており
ます。日本一の白ゴマ産地と
して、更なる拡充を図ってま
いります。

例年、農作物が台風の影響
で打撃を受けておりますが、
本年も農業振興を大命題と
し、農業の発展に努めてま
います。
簡易水道の統合事業につき
ましては、南部地区の軟水化
に向け、国への認可申請を本
年行い、平成十九年度事業開
始予定でございます。住みよ
い町づくりのため、良質の水
を供給してまいりたいと存じ
ます。

行い、四月に就航予定でござ
います。
新造船就航を機に、より一
層、産業振興、教育文化の向
上、観光客の誘致拡大等あら
ゆる面での流通、交流を促進
し、喜界島の特性を内外に発
信してまいりたいと存じま
す。
喜界島の美風として、豊か
な人情や助け合いの精神があ
りますが、かけがえのない豊
かな自然に感謝し、生かして
いくことが一番大切な事であ
ります。



喜界町議会議長 乾 和 夫

喜界町の未来に向け 積極的提言に努めたい

ります。「守ろう故郷の美風、
築こう心豊かな潤いの喜界」
をスローガンに安心・安全で
夢の持てる町の創造に向けて
全力で取り組む所存でありま
す。
町民の皆様におかれまして
は、本年も一層のご支援、ご
協力を賜りますようお願い申
し上げ、平成十八年という年
が町民の皆様にとりまして、
素晴らしい年になりますよう
祈念いたしまして、新年の挨拶
といたします。

喜界町の皆さん、新年明け
ましておめでとございますま
す。
本年は喜界町にとりまし
て、旧早町村との合併以来五
十周年を迎える節目の年であ
ります。役場新庁舎の使用開
始とともに、定期航路の新造
船も国・県の満額の助成を得
まして、今年就航する運びと
なっております。厳しい行財政

運営を強いられている鹿児島
県、また県内各市町村の中に
あって本当にありがたいこと
であり、心から感謝を申し上
げます。
加藤町政はこの五年間、町
内のあらゆる事業から少しづ
つ少しずつ節約して残ったお
金を基金に積み増す、という
方針で運営されてきました。
自主財源の乏しい町であり、
先行きの見えない改革の真っ
只中において「自立・自興」
の町を目指すには、この姿勢
の他にないと確信していま
す。そしてその方針を全力で
支えていこうとする者の一人

であります。

喜界町の次代を担う子供たちや、長い人生の全てを家族と島のために捧げてきたお年寄りのために、また今日を懸命に生きておられる青壮年に対して、住民サービスは、これを継続していく必要があります。問題はコストなのであります。行政が全てのサービスを抱えてしまえば、町民の負担が払いきれないくらいに大きくなりはしまい、ということなのであります。

高齢者の割合が三割を超すわが町であります。継続可能な住民サービスを維持しつつ、町民の急激な負担増を招かないためにも、地域でできる事は地域に、民間でできる事は民間で、というように新たな仕組みづくりが求められているところでもあります。私たちの集落にはまだ互助の精神が脈々と生きており、区長を中心にきちんとその役割を果たしていけるものと思えます。また現在、庁内各部署においても徹底的に無駄を省く作業や話し合いが関係者間でなされているところでもあります。勿論、自治体として採算を度外視しても継続していか

なければならない事業は多いでしょう。そのための地方公共団体なのでありますから。しかし逆に今すぐにも廃止してよい事業もあるやもしれません。私たち議会も、勇気と智慧をもって公平性と効率性を指摘し、よりよい喜界町の未来に向かって積極的に提言

ふるさとと自らに誇りをもつ教育の推進



喜界町教育長 晴永清道

新年のお慶びを申し上げます。町民の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのことと存じます。

昨年、町教育行政に対しまして絶大なご支援とご協力を賜り、誠に有り難うございました。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

戦後六十一年、日本は大変豊かな国になりました。そして、私たちの喜界島も今の六十代以上の皆さんが子どももの頃には想像もできなかったほどに豊かな生活になりました。昭和三十年代半ば頃まで

できるよう努める所存です。何卒、皆様方のより一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。末尾となりましたが、喜界町の今後の発展と町民各位の益々のご健勝、ご繁栄を祈念して新年のご挨拶といたします。

は、学校から帰ると井戸水をくんで汲み上げて、風呂を炊いたり、夕食用の芋を洗ったりなどが子どもたちの仕事でした。往時の苦労話がおとぎ話に聞こえるほど、島の生活も豊かになりました。

しかし、昭和三十年頃、一万六千人もいた島の人口は、五十年後の今日、当時の半分の八千五百人に激減してしまいました。三十年後の喜界島が今と同じように豊かであるためには、『ふるさと喜界島に立って、島興しに汗を流すことに喜びを見つける人材育成』が緊急の課題であります。

また一方、国もこれまでに経験したことのない様々な困難に直面しています。我が国は明治以来、国民の教育に力を注ぎ、世界に例がない早さ

で産業が発展し、経済大国と

言われるほどになりました。しかし、かつて世界一の生産高を誇っていた造船業やＩＣ生産などは、賃金の安い隣国にその地位を奪われてしまいました。産業の空洞化や高度情報化等の波の中にあつて、子どもたちに二十一世紀を『たくましく生きていく力』を育成すべく、中央教育審議会の様々な答申等に基づいて、指導内容の改訂など、数々の教育改革が進められているところではあります。

本町においても、国の様々な教育課題を念頭に置きつつ、学力向上などの課題解決に向けて教育の在り方を見直し、改善を図っているところでもあります。

今年も、『町づくりは人づくり』からという基本理念に立って、『ふるさとと自らに誇りをもつ教育』を合い言葉に、『個性輝き、心豊かでたくましく生きるこれからの時代を担う人づくり』をめざして、『基礎学力の向上』や『豊かな心の育成』、『健康な体づくり』など、激動の時代を『たくましく生きる力』の育成を図り、二十一世紀の豊かな喜界島を支える人材育成に取り

組んでまいります。

子どもたちの安全の確保等が大きな課題となっておりますが、学校・家庭・地域が一体となって連携を深め、それぞれの立場で教育機能を発揮することが必要であります。

教育委員会では、今後とも町民の皆様の学習ニーズにこたえ、様々な機会を生かして教育講演会などを企画し、心豊かで生き甲斐のある人生づくりを支援してまいります。学校教育、社会教育の一層の充実をめざして、施策の推進に取り組んでまいります。

また、町民の皆様の健康づくりや社会体育の充実、島の豊かな文化の継承等にも力を尽くしてまいります。すばらしい人材を数多く輩出した島であります。今の子どもたちも『やればできる』との信念をもって、教育活動を展開し、子どもたちに『自信と誇り』を培う教育を進めてまいります。これまで同様、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、皆様のご健康とご多幸を心から祈念し、念頭のご挨拶といたします。

心の豊かさ、学ぶ意欲高める

第13回喜界町生涯学習推進大会

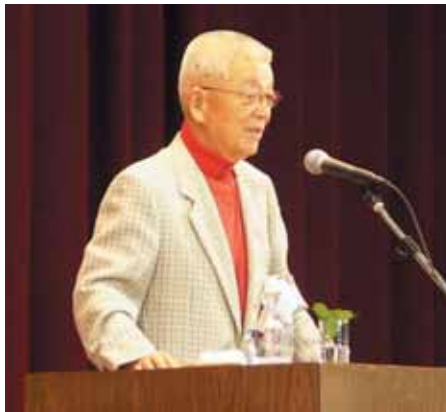


桂小金治さんの講演に700人

「自ら学び、心豊かで活力に満ちた『うるおいのまちづくり』をめざして、活気に満ちた文化と産業の町づくり」を大会テーマに第13回喜界町生涯学習推進大会が十二月十一日、町体育館をメイン会場に行われた。大会では六分科会に分かれ、事例発表や二年間の実践事項の反省の講演会やアトラクションを通じて、生涯にわたって学び続けることへの理解を深め、学習意欲を高めた。

「親父の言葉が人生を支えた」

大会は、喜界高校・第一中学校・早町中学校吹奏楽部の合同演奏で幕を開けた。オープニングでは加藤啓雄町長、乾和夫町議会議長のあいさつ、祝辞のあと表彰式があり、教育部門で功績のあった三人にそれぞれ



表彰状と記念品が贈られた。続いて六つの分科会に分かれ、それぞれテーマに沿った話し合いが行われた。事例発

表には、志戸桶十五夜会や小野津シーマスターズ、生和糖業など七組の個人・団体が立ち、それぞれの活動報告や提言、課題が述べられ、活発な意見がかわされた。最後に今後二年間のテーマと実践事項を決め、全体会で発表した。(表参照)

午後からはアトラクションがあり、文化協会所属の各団体が伝統芸能や三味線、島唄などを披露した。

「人の心に花一輪」と題した桂小金治さんの講演会には約七百人の聴衆が訪れ、熱心に語る桂さんの一言一言に耳を傾けていた。桂さんは「努力の上に辛抱という棒を立てる」「先人の声は道標」「経験に勝る学問なし」片手で錐は

揉めぬ。人の力に感謝しろ」など、父親から身をもって教わった人生の教訓、生き方について、時には得意の草笛を披露しながら、熱弁を振るった。

表彰者

- 教育部門
 大山 哲夫(湾)
 平 義哉(羽里)
 大畑 倫(小野津)



広報きかい



～新しい風・学びの光～ 人が光り 地域が輝く 生涯学習

第13回喜界町生涯学習推進会議・実践事項

【第1分科会】自立を育む青少年教育部会

テーマ 青少年の自立を育み、学び続ける力を養うふるさとづくりはどうあればよいか。

- 1 地域や家庭において、子ども達が主役となる活躍の場を与えるようにします。
- 2 「大人が変われば子どもも変わる」大人から積極的な声かけ・働きかけをします。

【第2分科会】潤いと安らぎのあるまちづくり部会

テーマ 生活に潤いをもち、住み続けたいと願うふるさとづくりはどうあればよいか。

- 1 「おはよう、こんにちは、さようなら」のあいさつをします。
- 2 伝統行事に家族で参加します。

【第3分科会】生き生き健やか健康部会

テーマ 一人ひとりが心身ともに健やかで、生き生き暮らすふるさとづくりはどうあればよいか。

- 1 地域のリーダー（体育指導員等）を活用し、各地域・職場で健康づくりに努めます。
- 2 生活リズムを整え、家族みんなで朝食をとります。

【第4分科会】豊かな心を育む文化活動部会

テーマ 地域の文化活動を通じて、豊かな心を育むふるさとづくりはどうあればよいか。

- 1 各集落のリーダーを中心に組織を作り、八月踊りの伝承を実施します。

【第5分科会】美しいふるさと環境部会

テーマ 緑豊かで潤いのある快適な環境を目指したふるさとづくりはどうあればよいか。

- 1 町民一人ひとりがゴミ処理問題を理解し、ゴミ減量に努めます。
- 2 環境問題は一人ひとりの意識から、空き缶ポイ捨てを止めます。
- 3 ゴミの分別を徹底します。

【第6分科会】活力あるふるさと産業部会

テーマ 職業人として専門性を高め、地域の産業振興を図る活力あるふるさとづくりはどうあればよいか。

- 1 産業振興を図るため安心・安全な地場産づくりに努めます。
- 2 地元産の農林水産物や加工品を愛用します。
- 3 環境に配慮した農業経営を実践します。

「粗大ごみ有料化」「指定袋導入」を検討

Ⅱごみ処理対策委が初会合Ⅱ

町政懇談会でも議題となったごみ減量化を話し合う「ごみ処理対策検討委員会」が設立され十二月二十二日、役場会議室で初会合が開かれた。住民課では「粗大ごみ置き場があふれるのは時間の問題。ごみ減量化のため町民負担もやむを得ない。検討をお願いしたい」と趣旨を説明。指定ごみ袋導入、粗大ごみ有料化に理解を求めた。実施予定時期は、粗大ごみは今年四月から、指定ごみ袋は十月一日から完全実施したい意向だ。

会合では行政九人、議会一人、住民代表十人、事業所代表八人の計二十八人を委員に

任命、総括者に藤村昭五助役が就いた。

ごみの現状

平成十六年度のごみ処理費用は一億千七十九万四千円、一世帯当たり二万七千七百六十六円。主に廃棄物収集・運搬業務委託料に二千四百五十五万円、焼却灰搬出委託料（宮崎県へ）に千七百十五万円、修繕料に二千二百二十三万円を支出している。

クリーンセンターへのごみ搬入量は、可燃物二千七百ト、不燃物・ビン類百一ト、缶類九十七ト、ペットボトル十七ト、計二千九百八十七トに及ぶ。

指定ごみ袋（一般ごみ）

県内九十四市町村（平成十

指定ごみ袋購入予定価格（案）

規格		1枚単価
記名式	大45リットル 470/650×800	40円
10枚ロール式	小30リットル 360/500×600	30円
	シール(ダンボール梱包)	40円

クリーンセンターへの直接持ち込み

- ・事業所（スーパー等）.....10円/kg
- ・一般家庭.....5円/kg

粗大ごみ

- ・持ち込み料.....5円/kg
- ・受け入れ品目

タンス等の家具・掃除機等の電化製品（テレビ等リサイクル対象品目を除く）・雑木・陶器のみ

これまで同様、スーパーなどで購入する。クリーンセンターへの直接持ち込みには指定袋は必要ないが、持ち込み料を徴収する。事業所（スーパー等）に

六年度）中、九十市町村が指定ごみ袋を導入。内八十八市町村が有料化している。未実施町村は喜界町、串良町、鹿島村、十島村三島村のみ。

町ではこれらの状況も踏まえ、指定ごみ袋を導入したい考えだ。案では大袋四十五リットル一枚四十円の予定別表。

粗大ごみは四月から有料化を検討。受け入れ品目にも制限を設ける。受け入れ品目は、タンス等の家具、掃除機等の電化製品（テレビ等リサ

よる直接持ち込みは、十円/キログラム、一般家庭からの持ち込みは五円/キログラム。

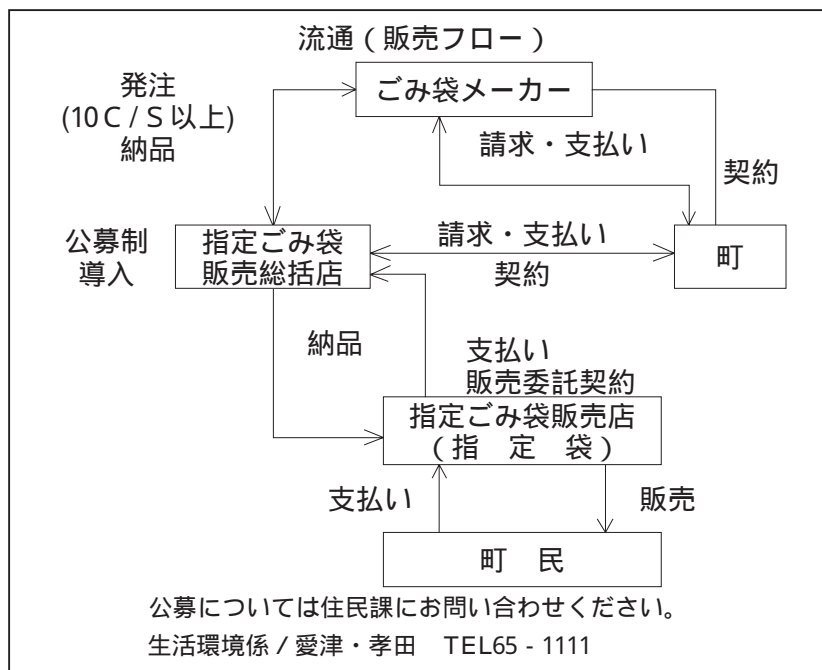
実施時期は今年五月から。ただし、指定ごみ袋については五カ月間の経過措置を設け、十月一日から完全実施したいとしている。

粗大ごみは四月から有料化を検討。受け入れ品目にも制限を設ける。受け入れ品目は、タンス等の家具、掃除機等の電化製品（テレビ等リサ

粗大ごみは四月から有料化を検討。受け入れ品目にも制限を設ける。受け入れ品目は、タンス等の家具、掃除機等の電化製品（テレビ等リサ

イクル対象品目を除く）、雑木、陶器のみ。クリーンセンター経由で計量・料金支払い後、証明書の発行を受けて持ち込む。価格は五円/キログラム。

町では有料化により約千三百万円の収入を見込み、施設の維持管理費等に充てたい考えだ。



再会に誓いも新たな142人が古里で成人式



平成十八年喜界町成人式が一月二日、喜界町自然休養村管理センターであり、百四十二人が新たに成人の仲間入りをした。

バンドや島唄、町近況紹介ビデオ上映に続いて式典があり、加藤啓雄町長は「これから社会は、君たちを厳格な目で見つめる。自覚と感謝を忘れず人生を歩んでほしい」、乾和夫町議会議長は「人生は辛いことの方が多い。一に辛抱、二に辛抱と呪文のように唱えながら、長い道のりを力強く歩いてほしい」と祝福。晴永清道教育長は「人生二度なし。無意味に時を過ごすことのないよう、夢を追い続けてほしい」と激励した。また、青年連絡協議会を代

表して西英範さんが「島を思う気持ちはみな同じ。島人の誇りを持って物事に向かってほしい。なぜなら」と励ました。それに対して三人の新成人代表が抱負を述べ、感謝を表した。式典終了後、記念撮影で島での思い出の成人式を終えた。



第一中代表 吉岡洋士 池治

これからは全ての行動に自己責任が課され、不安とまどいも大きい。現代は様々な情報が飛び交っている。物事を正しく見極め、判断する目を養いたい。将来は大学(生物生産学)で学んだことを活かし、作物や家畜に関わる仕事につきたい。島で培った根性と精神が私の支え。数十年後人生を振り返って、間違い



第二中代表 前泊佑香 手久津久

「懐かしややまりまり拝めば懐かしややしまどうし・島ちゆ・島ゆみた スラ懐かしやや」。二十年間、家族や島の人々の愛を受け、大人になった。一番感じることは「感謝」。人の優しさ、温かさに触れるたびに、島ちゆであることを誇りに思い、島唄を残してくれた祖先に感謝している。今は大学に通いながら島唄の活動も続けている。将来は英語教師になり、英語と島唄を伝えていきたい。それが私の「使命」。ありがとをパワーに変え、私なりに輝きたい。



早町中代表 榮秀奈 伊実久

高校卒業後、それぞれが自分の夢に向かって歩き始めた

が、現実の厳しさを知り、つらく寂しい思いをしたこともあった。そのとき浮かぶのが家族や友人の顔、島の風景だった。私には保育士という夢がある。人の役に立ちたい。まだまだ未熟だが、出会いを大切に、辛い時には支え合いながら、社会人として成長できればと思います。島人としての誇りを持ち、夢に向かってがんばろう。二十年間。お世話になった両親、多くの人々に感謝している。

団員14人を表彰 / 平成18年 消防出初式



財産を守る献身的な努力に敬意を表する」と式辞を述べ、鹿児島県知事(代読)、喜界町議会議長、自衛隊喜界島通信所所長、名瀬警察署長(代読)がそれぞれ祝辞を述べた。また、長年消防団員として功績のあつた十四人にそれぞれ表彰状が贈られた。

現在、特別警備分団を含め十分団・百十九人が日夜、町民の安全を守るため活動している。

平成十八年消防出初式が一月六日、自然休養村管理センターで行われた。あいにくの悪天候で室内での開催となり、放水訓練は中止となった。各分団旗が壇上に並ぶ中、勇一敏副団長が高らかに開会を宣言。壇上上がった加藤啓雄町長に署員、団員がキビキビとした敬礼を見せ、日頃の訓練の成果を披露した。加藤町長は「町民の生命、

【鹿児島県消防協会表彰】精進章 大岡茂・南島孝徳 鹿児島県知事表彰 10年勤続章 孝志長文・川村英幸・栄田義稔・松元生徳・大山成治・富岡四一・牧政己 鹿児島県消防協会大島支部長表彰 15年勤続章 秋月幸誉・喜禎義一・登山浩守・安村光弘・富田常仁

大朝戸で集中防除実施

カンキツグリーニング病根絶に向けて

カンキツグリーニング病の根絶に向けた集中防除が十二月十二日、大朝戸集落で行われた。喜界島ではこれまでに十三本の罹病樹が確認されているが、いずれも発生地点が大朝戸集落に限られていることから、罹病樹根絶（発生ゼロ）に向けた集落一斉防除が行われた。



喜界島（大朝戸）で初めてカンキツグリーニング病罹病樹が発見されたのは、平成十五年十二月。以来、昨年十二月までに二千四百八十六本のサンプルを採取、調査した結

果、六地点十三本の罹病樹が確認されている。発生地点は、すべて大朝戸集落だった。

農林水産省門司植物防疫所や鹿児島大学農学部、鹿児島県果樹試験場病虫研究室、町営農技術課など九つの関係機関は、「喜界町は発生が限定的であり、発生範囲も限られている」ことから、大朝戸集落を罹病樹根絶のモデル地区に指定し、集中的な防除、根絶に乗り出した。

十一月に綿密な検討会を開き、十二月十二日からカンキツグリーニング病の媒介虫であるミカンキジラミの防除を開始。ゲッキツや庭先のカンキツ類、果樹園に薬剤を散布した。

町営農技術課では「カンキツ類は町の貴重な財産。今のところ発生地点は限られているので、関係機関や集落と連携し根絶したい」と語る。今後、年二回の肉眼診断やミカンキジラミのモニタリング（防除効果確認調査）、ミカンキジラミ保毒虫の検定を実

施し、罹病樹の根絶を目指す。カンキツグリーニング病「ミカン類のがん」とも言われ、感染した樹は必ず枯れ、媒介虫のミカンキジラミ

大橋社長（生和糖業）変革求める

糖業総会を相次ぎ開催



や接ぎ木で伝染する。キジラミはミカン科の植物・ゲッキツに好んで寄生するが、喜界島ではゲッキツは庭木として多く植えられている。

けの実績を挙げている。三年ぶりの年内操業を期に以前の活気を取り戻そう」と呼びかけた。平成十七年度はハリガネムシ防除委託に三百三十万円を計上。引き続き病害虫防除対策に力を入れる。

また、さとうきび生産振興大会では生和糖業・大橋敬一郎社長の講演があり、「南西諸島の基幹作物であつても、これ以上生産量が減ると会社は撤退せざるを得ない。経常損益の段階で赤字を出さないことが継続の絶対条件。喜界島は栽培面積が変わっていない。一一〇〇畝を今後も確保し、七万五千ト、歩留まり一五%であればなんとか生き残れる。国はバラマキ農政からの変換を図っている。実態は追いつめられている。これが最後のチャンス」と構造的な変革を求めた。

3年ぶりの年内操業 生和糖業製糖スタート



生和糖業（西一臣工場長）が十二月二十一日、今期の製糖を開始した。工場内で出発式があり、JA喜界町の嶺禎

百九十トのキビが搬入され、平均甘しや糖度は一三・一八度だった。搬入期間は四月十二日までの予定。

一郎組合長は「台風被害も少なく、商品価値は高い」とあいさつ。今期も目標の七万五千トには届かないが、前期より約一〇%多い七万トを見込んでおり、糖度も高く、関係者も安堵の表情を浮かべた。初日は五

琉球大学 池田教授 講演「源平合戦とキカイジマ」

喜界島が日本史を変える



史を変えることになるかもしれない。それを証明する作業を今、進めている」と述べ、会場に訪れた考古学ファンのロマンをかき立てた。平成十五年から始まった山田半田遺跡や山田中西遺跡の考古学発掘調査では、平安時代から源平争乱期に

かけて一大集落遺跡の存在が明らかとなりつつある。池田教授は「確定にはまだ至らないが、国の建造物としか考えられない壮大な建物跡。情報の発信地、集約地であり、出先機関としての中心地が喜界島ではないか」と推測する。また、喜界島の出土品が奄美と違うことを指摘、「常に最新の技術を取り入れている。情報と文化が他より一足先であった」と述べた。そして「これらの検証にはあと五年かかる。今はまめな証拠固めの時期」と、今後の調査に期待を寄せた。

名瀬市教委の向井さんが講演 / 第2回総合家庭教育学級



第二回総合家庭教育学級が十二月十七日、中央公民館であり、名瀬市教育委員の向井扶美さんが「家族っていいな」元気に笑顔で子育てを」と

題して講演した。向井さんは主任児童委員や調停員、自身の子育てなどの経験から「子どもが母さんを思い浮かべるとき、笑顔が浮かばないと母親失格」父親も子育てに参加して「過干渉、放任はいけない。ほどよいさじ加減を見つけて」ありがとうは魔法の言葉「子どもありのままを認めよう」我が子だけでなく、地域の子どもの親になろう」などと助言した。

志戸桶七城の測量調査を実施するなど、古代末から中世の喜界島に最も注目している琉球大学法文学部の池田榮史教授が十二月二十七日、中央公民館で「源平合戦とキカイジマ」と題して講演した。池田教授は「喜界島が日本の歴史を変える可能性がある。今はその証拠固めの時期」と、山田中西や山田半田遺跡の調査に大きな期待を示した。



新庁舎開庁は2月6日

残るは外構工事と植栽のみ

一昨年十一月に着工した喜界町役場新庁舎建設工事は、

庁舎本体の工事をほぼ終え、外構工事、植栽を残すのみとなった。これに伴い新庁舎での業務開始を二月六日とする

ことが正式に決まった。

第一中学校西側に建設された新庁舎は、敷地面積一八六

九六平方メートル、延べ床面積三五

四九平方メートル。敷地面積は現在の約六倍、庁舎面積は約二

倍になる。総工費は約十四億五

千万円。

庁舎一階部分に住民課、保健福祉課、税務課 収入役室、

建設課、水環境課、産業振興課、財産管理課、農業委員会を、二階には町長室、助役室、総務課、企画課、教育委員会、議会、選挙管理委員会を配置した。

庁舎南側にはコミュニ

ティーセンターがあり、会議、イベント等に利用

される。町では一月二十九日に一般公開する。

また新庁舎落成式は、喜界町・早町村合併五十

周年記念式典と併せ、五月二日(火)新庁舎コミュニ

ティーホールで行う。

新庁舎完成に伴う今後の日程

- 1月29日(日) 新庁舎町民一般公開
9:00~10:00 11:00~12:00 13:00~14:00 15:00~16:00
- 2月2日(木) 新庁舎開庁式
- 2月6日(月) 新庁舎業務開始
- 2月6日(月) 旧庁舎閉庁式
- 2月11日(日) 福永代志時(上嘉鉄出身)写真展
~19日(日) (新庁舎コミュニティーホール)
- 5月2日(火) 新庁舎落成式・合併50周年記念式典
- 9月10日(日) 喜界町・早町村合併50周年

10年後の私へのメッセージ

平成6年生まれの年男・年女

今年初めて年男・年女を迎えた平成6年生まれの小学生22人に将来の夢や今年の目標、10年後の自分へメッセージを書いてもらった。さて10年後のきみたちは、どうなっているだろうか。夢に向かって「ガンバレ」成年の子どもたち!!

集落 将来の夢 今年の目標 尊敬する人
10年後の私へのメッセージ

まだ野球していますが、10年前の夢、野球選手にむかってがんばっていますか、これ



中里 野球選手
野球で一勝する
親と松坂

秋田 拓己(湾小)

からも大好きな野球を続けて
いってください。

梶原 麻衣(湾小)



湾 保母さん
高学年らしく
おばあちゃん

今あなたは何をしていますか。きちんと夢が叶っていますか。友達と仲良くしていますか。さみしい時でも前向きにがんばってね。

小林佳奈子(湾小)



羽里 パティシエ
(何にでも努力する
親

10年後の私は、パティシエになるために、おかしの勉強をしていると思います。友達と仲良くして、元気に毎日

夢に向かって

過ごしてほしいです。

北村 祈美(湾小)



池治 学校の先生
体力作りをする
学校の先生

10年後のわたしは、学校の先生になつていますか?生徒に勉強上手に教えてあげてますか? これからも、学校の先生がんばってね!

繁原 由紀(湾小)



赤連 サッカー選手
走りを速くする
お父さん

10年後のぼくは、身長がたくさんのびていて、走りが速くなって、今よりずっとスポーツができるようになって下さい。

東崎 夏季(湾小)



中里 パティシエ
いつも笑顔
両親

夢に向かって一生懸命がんばってどんなことにもチャレンジしてがんばっていきましょう。

前底 勇輝(湾小)



湾 サッカー選手
学校を休まない
一生懸命な父親

今、自分がサッカースポーツ少年団でサッカーを教えるもらっているように、10年後は自分が、子供達に教えているだろう。

安岡 奈美(湾小)



赤連 保育士
学校生活を楽しく
両親

夢は、しっかり叶いました

か? 子供達に囲まれて、楽しくお仕事をできていますか? 夢に向かってあきらめず、10年後輝いていますように。

松山 末喜(早町小)



嘉鈍 歯科衛生士
徒歩登校
両親

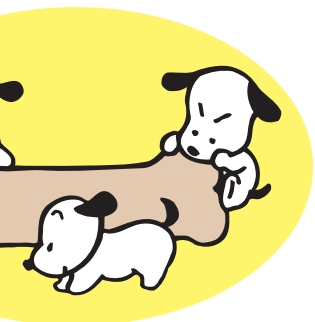
歯科衛生士としての仕事について、二年になります。歯科医の先生や先輩達と力を合わせてこの仕事にほこりもてるようにがんばってね。

山口 晃平(早町小)



塩道 学校の先生
百点をとる
両親

ぼくは、百点をいっぱい取って学校の先生になるようにがんばっています。自信できる大人になっていますか。両親を大切に。



勇元 愛子(早町小)



白水学校の先生
勉強をがんばる
親、先生

字がきれいでやさしくて、
ピアノのひけるしっかりした
先生になって、いろいろな事
を子どもたちに教えてあげて
ください。

米盛 幸汰(早町小)



早町メジャーリーガー
勉強をがんばる
ふかみずたくや

岩 大祐(上嘉鉄小)



先山野球選手
ソフトで優勝する
イチロー選手

10年後のぼくは、つよくた
くましく、これからもスポー
ツができる人になってほしい
です。10年後、メジャーリー
ガーになってほしいです。

がんばるワン

十年後のぼくは、プロ野球
のピッチャーになっているで
しょう。

日本一めざしてがんばれ。

実田 未沙(上嘉鉄小)



久津久 向三 美
前所 三 美
津前 所 三 美
久津 久 向三 美
保育士も所だっ
手何保ん任生
久子

保育士になれましたか。今
も、もちろん小さな子供が好
きな未沙ですよ。
やさしい心を忘れずにこれ
からもがんばってね。

富田 理貴(上嘉鉄小)



東選手よく
鉄選仲
嘉球達
上野友
野球友
達とイ
チロ一
選手

22さいのぼくは何をしてい
ますか？ プロ野球選手に
なつてがんばっていますか、
それとも夢が変わっています
か？ がんばれ大人のぼく！

前島 智美(上嘉鉄小)



上嘉鉄
人の役に立つ仕事をするこ
いろいろな本を読む
両親と担任の先生

自分の夢は実現できました
か？ 健康で・明るく・前向
きにをモットーにがんばつて
下さい。

小山 拓海(滝川小)



ぐすく
サッカー選手
練習をする
お兄ちゃん

思 一志(志戸桶小)



佐手久
牛飼いの仕事
決めた事は最後
までがんばる
お父さん

サッカーをたくさんして
て、もつとたくさん、りっぱ
な人になってください。



10年後のぼくは、大好きな
牛の仕事をしてると思いま
す。お父さんのように、がん
ばる人になりたいです。 がん
ばれ一志。

岩松 祐真(坂嶺小)



先内
プロ野球選手
全てに全力投球

プロ野球選手になり目標に
向かってがんばっていると
思います。苦しい事もあるか
と思うけど、負けずに最後まで
がんばって下さい。

大岡 翔也(荒木小)



荒木
発明家
勉強とスポーツ
父とエジソン

10年後の自分は、世界中の
人に幸せを届ける発明家に
なっていて、ギネスブックにの
って喜界島を有名にするぞ。

増田早矢加(小野津小)



小野津
じゅう医
勉強をする事
お父さん

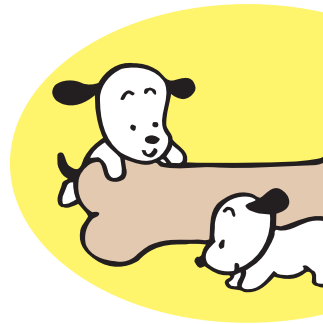
私は、今じゅう医になるた
めこつこつと勉強をしていま
す。大人になってじゅう医に
なつていなくても、動物関係
の仕事につきたいです。

佐藤 宗(阿伝小)



阿伝
プロ野球選手
忘れ物をしない
親

あなたの夢は実現しました
か。プロ野球選手になつてい
ますか。試合ではいいプレー
を見せてください。楽しみに
しています。



TOWN まちの話題 News

健闘！男女ともに3位



美区は1区の写真提供。喜界女子8名（ゼッケン8-1）スタートする女子。実津日新聞社、奈津日、斉奈海、代南

女子は五区間16キロに九チームが出場。一区（中学生）美代奈津実は四位スタート。二区（高校生）金井あゆみは順位を一つ上げ、後続もそのまま三位を守りゴールした。

第47回日本復帰記念大島地区駅伝競走大会

第四十七回日本復帰記念大島地区駅伝競走大会は十二月十一日、龍郷町で行われ、喜界町チームは男女とも三位入賞と健闘した。

男子は五区間31キロに十チームが出場。一区（中学生）富田和範は区間二位でタスキつなぐと、二区（高校生）三浦功世は区間賞を獲得、一時トップに立った。三区、四区で順位を一つずつ落とし、最後の三位でゴール。前年の八位から大きく躍進した。

積山忠久体育協会理事長は「昭和五十年代半ばに二位に入ってから、久しぶりの上位入賞。今年は、朝日浩之監督の下、合同練習に取り組んだ成果が出た。中学生、高校生がよく頑張ってくれた」と、郡大会の陸上男女アベック

「夢や希望を持ってがんばってほしい」と、早町小学校昭和二十三年卒業（当時の早町国民学校高等科二年）現中学二年の二十五人「現が卒業六十年を記念して十月二十四日、母校に「校歌・校訓」額を贈った。

贈呈式では全校児童を前に松下良平さん（塩道）が趣旨を説明。林清見さん、山野光夫さんは、当時の思い出を語りながら「一人ひとりが輝い

優勝に続く健闘を讃えた。

また、本町中里出身の久野みずえさんが宇検村から出場。四区で区間賞を獲得した。男子 名瀬 A 笠利 A 喜界（富田和範・三浦功世・前島隆太・前島将太・積山寿久）女子 名瀬 笠利 A 喜界（美代奈津実・金井あゆみ・上間笑菜・上島仁美・上梅美寿紀）



新しく掛け替えられた額をバックに

校歌、校訓額をプレゼント

早町小昭和23年卒業生「てほしい」と、後輩たちを励ました。励ましにこたえて新島大輝くん（六年）が「今人数は少ないけど（児童数三十八人）、元気の良さはどこにも負けない。これからも精

す」と感謝した。最後に全員で校歌を斉唱したが、感激で涙を流す卒業生もいた。式終了後、校庭を懐かしそうに見てマル「ゆらゆいん木」をバックに記念撮影をする姿も見られた。白田俊幸校長は「母校への思いの強さ、深さに感銘を受けた。大事に受け継ぎます」と感謝した。

異国でも心は通じる

ハンスー交流で台湾訪問

から台湾の文化を学び、交流を深めた。



ハンスー喜界島交流会（生島常範会長）は十一月二十四日から四泊五日の日程で台湾の訪問し、ホームステイしながら、

一行八人（桐野茂昭・桐野達江・大友勝一・大友照子・原口律子・南村フサエ・栄常光・生島常範）は、二十五日に台湾に入り、まず中山国民小学校を訪問、太極拳やお茶の熱烈的な歓迎を受けた。中山国民小学校は一九九九年の大地震で大きな被害を被った。当時、喜界島から義援金を送った経緯があり、訪問の折には、毎回温かく迎えてくれる。

今回のホームステイ先は、三年前に来島した四大家族宅。元・家長会長（PTA会長）周甲申さん宅で開かれた歓迎会では、法被姿で「島のブルース」を披露。互いに輪になり、親交を深めた。滞在中は名所・観光地を訪問し、茶葉加工場や茶園を見学した。大友勝一さんは「自分の想像と違い、台湾は予想以上に発展していて驚いた。受け入れ家族が温かく迎えてくれて、異国の地でも心は相通ずるものがあり、これが真の交流だと感動した」という。

サトウキビの葉でしめ縄

志戸桶小児童が挑戦

志戸桶小学校（池増哲也校長・児童数六十人）では毎年、サトウキビの植え付けから収穫、黒砂糖づくりまでを総合的な学習として実施しているが、今年度はサトウキビの葉を使ったしめ縄づくり（志佐地区サポート委員会主催）に挑戦した。



したオリジナル作品。

キビ葉のしめ縄は、志戸桶集落の濱田正巳さん（75）が二十年ほど前に稲ワラが手に入らなくなり、「サトウキビの葉や梢頭部でしめ縄が作れないか」と、思案の末に編み出

した。冬休み初日の十二月二十三日、学校に三十人の親子が集まった。浜田さんの指導の

下、横に張った紐にサトウキビの葉を包み込むように巻き、真ん中を三つ編みしながら輪にする。

二時間後、悪戦苦闘しながらも全員完成。向井結子さん（二年生）は「初めは難しく二時間もかかったけど、家に帰ってからもうひとつ作ったときは二十分ででき上がった。

た。おばあちゃんの家にも飾った」と満足そう。濱田さんは「みんな一生懸命で、熱中していた。喜んで持ち帰ってくれた」とうれしそうに語った。

見事な大菊にため息

盆養菊づくり教室が観賞会

社会教育学級・公民館講座 閉講式より一足早く、盆養菊づくり教室（晶貴一真講師）の受講生二十八人が丹誠込め

て育てた上げた菊の観賞会を十一月十八・十九の両日、中央公民館前で開いた。会場には百三十鉢の大菊や小菊が見事な形の花を咲かせ、訪れる

観客のため息を誘っていた。菊は中国原産。日本には奈良時代中期に遣唐使によってもたらされたといわれている。種類も多種多様だが、講座では主に大菊の「三本仕立て」に取り組んだ。大菊とは花の直径が十八センチ（六寸）以上の菊を言い、



ウヤンコーから九日目の十二月十二日、中里集落で伝統行事冬折目（フユノミ）、「餅栗、米フチャギ給レ〜中里集落で餅もらい

もらい」があった。辺りが暗くなるのと、太鼓やブリキの缶をにぎやかに叩きながら、男女別々に「いざ出発」。家々の玄関先で「栗フチャギ給レ〜、米フチャギ給レ〜」と歌い、踊る。中学三年生の梶原千穂さんは、今年が最後の参加。歌い終わると「歌詞は同じだけどメロディーは男女で微妙に違

うんだよ」と教えてくれた。子どもたちは農神の使いとされ、餅貰いの唄には「来年の豊作を約束する」と意味があり、家人も子どもたちを喜んで迎える。今では祝儀は餅からお金へと変わり、最後に平等に分ける。子どもたちにとっては一足早い「お年玉」だ。寒さでユラユラ輝いて見える星の下、子どもたちの歌声やブリキ缶の音が集落に年の瀬間近を告げていた。



観客のため息を誘っていた。昨年、昨年と見事に大輪の花を咲かせた、五月の挿し芽から鉢上げ、三枝誘引、蕾の選定、輪台付けなど約半年間、「手間暇かけて育て上げた大輪の花を眺めるときが、なんとも言いえないと、すっかり菊づくりにはまた様子。観賞会はまさに半年間の苦労が報われるときだ。

身を寄せ寒さに耐える

越冬するリュウキュウアサギマダラ



めたライトブルーの蝶たちは、ヒラヒラと林の中へと消えて行った。リュウキュウアサギマダラの越冬は二月ごろまで見られる。

北風が吹き荒れ、寒さが一段と増した一月初旬、中里集落の林道で越冬するリュウキュウアサギマダラの群れがいた。リュウキュウアサギマダラは気温が一五度以下になると集団越冬する習性がある。平年より寒い今冬は、越冬風景がよく見られる。

羽を閉じて、集団でツタにしっかりとつかまつている様子は、まるで枯れ葉のよう。不思議と上から下まで同じ方向を向いている。擬態の意味もあるのか、普段より少し黒っぽい。手で触れても動かない。数十匹のリュウキュウアサギマダラが身を寄せ合っている光景は幻想的で、自然の神秘を感じさせる。

やがて日が照り気温が上がると、深い眠りから覚

自分の“路”を表現 福永代志時（書界出身）が写真展



カリフォルニアの大地を貫く旧国道「ルート66」の大作は今回のテーマ「路」を代表する作品（写真提供=南海日日新聞社）

2月11日から本町でも開催

喜界町出身の写真家・福永代志時さん（51）は東京在住の「写真展「路」」が一月二十二日、笠利町の奄美パーク田中一村記念美術館で開かれた。

福永さんは上嘉鉄生まれ、鹿

児島南高校、東京工芸短期大学へと進んだ。その後、写真家・高崎勝二氏のアシスタントを経て一九八九年に福永事務所を設立。現在は主に広告写真の第一線で活躍。日本たばこ産業、NTTの広告、ブリヂストンやアサヒ飲料のTVコマーシャル制作などに携わり、JR東日本ポスターグランプリ最優秀賞やAPA（日本広告写真家協会）優秀賞などを受賞。

今回は時代の最先端を飾ってきた広告写真十四点と海外ロケで撮りためた風景写真二十二点が展示された。福永さんは「都会へのあこがれから高校卒業後、志を持って上京した。写真という観点から、自分の「路」を表現した。写真を通して世界を見ることが、奄美や日本の良さを感じてもらえれば」と語る。

写真展は本町でも二月十一日、十九日、役場新庁舎コミュニケーションホールで行われる。

保健師だより

知ってますか？

メタボリックシンドローム

明けましておめでとございます。今年も健やかな心と体を保つことを心がけ、明るく過ごせるよう努めましょう。

今年度、町で実施された基本健診の受診者は、一、三六五人でした。その健診結果を見ると、「異常なし」は、一割弱の二二二人で、九割以上の方が、早急に「生活の見直し」が必要との判定が出されました。こ

さて、二月一日から七日は「生活習慣病予防週間」です。「私は生活習慣をこのように改善して健康を守ろう！」を有言実行する時にしたいと願っています。



先日「八十路のスタート、八千から一万歩、足腰を鍛え、常日頃前向きな姿勢で」との達筆な年賀状を手にし感動しました。お互い「今なら間に合う」を合い言葉に積極的に取り組みましょう。

これは自覚症状が無くても数値で表された体のメッセージです。

近頃「メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）」という言葉で、健康チェックの指標が示されました。

内臓脂肪による肥満の人々が、「糖尿病」「高血圧」「高脂血症」などの危険因子を併せ持つて、動脈硬化が急激に進む危険な状態を表す「警戒」です（図参照）。あなたは大丈夫ですか？



歌い、踊り、笑って厄を払う

志戸桶でヒグルー貰い

年が明けた正月二日、志戸桶集落で伝統行事「ヒグルー貰い」がにぎやかに行われた。集落有志が家々を回り六調で厄を払い、福を呼び寄せた。午後八時近く、仮装した有志を先頭の家々を回り始めた。道々、テイクー（太鼓）を叩き、一団が近くに来ていることを知らせる。門をくぐると早速、テイクーと三味線の軽快なリズムに乗り、六調が始まった。どこからともなく、八ト（指笛）が飛ぶ。有志も家主も一体となって踊る。今年から加わった中学生も、初めは恥ずかしそ

うに踊っていたが、次第に雰囲気慣れ輪に加わった。途中、成人式のシツクミ（家回り）とかち合い、異様なほどの盛り上がりを見せた。一時途絶えた「ヒグルー貰い」を復活させた有志のリーダー・伊牟田正子さんによると、「いつの時代から始まったか、はつきりとしたことは分からないが、明治生まれの方の話では、子どものころすであつたというから、百年以上は続いているのだろう」。

志戸桶集落の一年は「成人式」と「敬老会」と「ヒグルー貰い」から始まる。忙しい一日は、心地よい疲れと余韻を残して午後十時、ようやく終わりを迎えた。

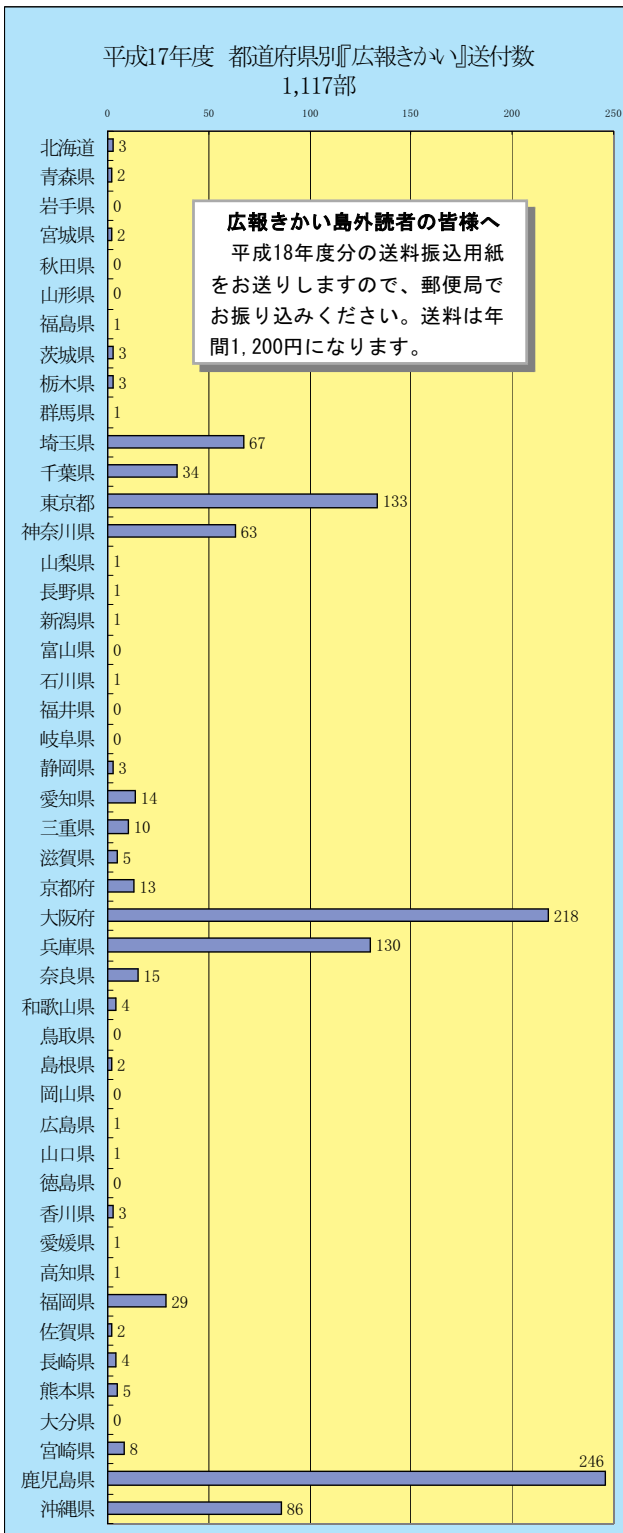
VHS&DVD・Rを町に寄贈

ねんいち会チャリティーゴルフ 奄美郡内の建設業界親睦団「ねんいち会」（大石雅弘会長）は昨年十一月、恒例のチャリティーゴルフコンペを奄美カントリークラブで開き、その収益金でVHS&D



同会は年二回チャリティーコンペを開催、各市町村に車イスを贈るなど福祉活動にも力を入れている。

広報きかい島外読者の皆様へ
平成18年度分の送料振込用紙をお送りしますので、郵便局でお振り込みください。送料は年間1,200円になります。



お知らせ

戦没者等の妻の方へ

戦没者等の妻に対する特別給付金(第二十二回特別給付金「い」号)の請求はお済みですか。

平成15年4月1日現在、次の年金給付に受給権を有する戦没者等の妻に特別給付金が支給されます。

・恩給法による公務扶助料・特例扶助料

・戦傷病者戦没者等援護法による遺族年金・遺族給与金・公務傷病または勤務関連傷病による死亡を支給事由とするもの

・旧令共済組合特別措置法の殉職年金等

請求期限は平成18年3月31日までです。

この日を過ぎると、時効により権利が消滅し、特別給付金を受けることができなくなりますので、請求忘れのないようお早めに手続きをしてください。

請求手続きなど詳しい内容については、保健福祉課まで

は都道府県の援護担当課にご相談ください。

問い合わせ先

喜界町役場保健福祉課

☎0997(65)1111

奄美群島振興開発基金からのお知らせ

奄美基金は、奄美の産業振興を目的とする奄美の事業者のための金融機関です。

・奄美の特色を活かした事業に対し長期・低利資金で応援します。

・資金使途の事例

農林業(農機具購入、農地購入、農地造成など)

水産業(漁船・器具購入、養殖施設の整備など)

観光関連業(民宿施設、観光客向郷土料理店建設など)

奄美の特産品(大島紬、黒糖焼酎、自然塩・にがり、キビ酢、薬草その他甘みの地域資源を活用した事業など)

金利は1・40〜1・85%(平成17年10月20日現在)期間は最長15年

右記設備資金のほか仕入れ資金、諸経費支払い、未払い金・買掛金等の決済など事業の経営安定に必要な運転資金の利用も対象となっております。ご相談等も随時、受け付

けております。

問い合わせ先

独立行政法人奄美群島振興開発基金 業務課

〒894・0026

名瀬市港町1・5

☎0997(52)4511

<http://www2.ocn.ne.jp/~kitkin>

かごしまふれあいアイランド市場(仮称)

鹿児島県の離島は、南北600キロに及ぶ広大な領域にわたって点在し、その面積は国土の約4分の1を占め、19万人あまりの人々が生活しています。温暖な気候、広大な海域、豊かな自然環境、特色ある風俗・文化に恵まれ、これから発展していく可能性を秘めた島々です。

かごしまふれあいアイランド市場(仮称)は、特産品等の新しい販路開拓や新たな観光客誘致につなげ、鹿児島県離島地域の活性化を図ることを目的とします。

・各島々の特色ある特産品や工芸品等の展示即売(本町からも出店)

・観光等の情報案内やPRミニステージの開催

・鹿児島県のしま情報満載

日時 平成18年2月18日(土)

午前10時〜午後6時

平成18年2月19日(日)

午前10時〜午後5時

場所 鹿児島市本港新町5番

4号「ドルフィンポート

1階「ドルフィンホール」

主催 鹿児島離島振興協議会

県民公開講座および消費者トラブル110番

☎099(206)1026

最近、一般消費者の商品に関する知識につけ込んだ、詐欺的な手段による高価商品の押し売り、多種多様な架空請求、不安をおり多額の補修費用を請求する点検商法など悪徳商法が横行、様々な消費者被害が発生しています。当会ではこのような消費者被害を未然に防ぎ、また被害に陥った消費者を救済するために、「県民公開講座及び消費者トラブル110番」を開催します。

県民公開講座「消費者トラブルの予防と救済」

日時 平成18年2月25日(土) 午後1時〜午後4時

場所 かごしま県民交流センター

消費者トラブル110番 日時 平成18年2月26日(日) 午前10時〜午後5時

電話による無料相談

鹿児島市・司調センタービル

☎099(206)7931

面談による無料相談(全会場実施、原則要予約)

・鹿児島市鴨池新町1番3号

司調センタービル定員

・名瀬市長浜町5番6号

名瀬市社会福祉協議会

問い合わせ先

鹿児島県司法書士会

☎099(256)0335

労働者1人でも雇っている事業主は労働保険に加入する義務があります

労働者を1人でも雇っている事業主は、労災保険の加入手続きを行わなければなりません。

平成17年11月1日から、労災保険未加入の事業主に対する費用徴収制度が強化されます。これにより、事業主が労災保険の加入手続きを怠っていた期間中に労災事故が発生した場合、さかのぼって保険料を徴収する他に、労災保険から給付を受けた金額の10%または40%を事業主から徴収することになります。

問い合わせ先

名瀬労働基準監督署

☎0997(52)0574

所得税の確定申告書は自分で書いてお早めに

平成17年度分の所得税の確定申告は、平成18年2月16日(木)から始まります。

申告期限は3月15日(木)ですが、期限間近になりますと申告書記載会場は大変混雑し、長時間お待ちいただくこともなにかねません。

確定申告書は「所得税の確定申告書の手引き」を参考に記載していただくか、国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp>)の「確定申告書等作成コーナー」で簡単に作成できますので、是非ご利用いただき、お早めに申告と納税をお済ませください。確定申告書の提出は郵送等でも結構です。

なお、事業所得、不動産所得または山林所得のある方は、確定申告書に「収支内訳

平成17年度分所得税・贈与税および消費税申告相談日

平成18年2月16日(木)
午前9時～午後4時
喜界町役場会議室

書」を添付することが義務付けられていますからご注意ください。

詳しいことは、大島税務署や鹿児島税務署税務相談室にお気軽にお尋ねください。

(注) 個人事業者の方の消費税および地方消費税の確定申告と納付の期限は、3月31日(金)です。

問い合わせ先

大島税務署
☎0997(52)4321
鹿児島税務署税務相談室
☎099(255)1084

土地や建物などを売ったとき

土地や建物などを売ったときの利益を譲渡所得といい、この譲渡所得にも税金がかかります。譲渡所得に対する税金は、他の所得と分離して計算するなど、特別な計算方法となっています。

なお、平成16年1月1日以後に売った土地、建物等の譲渡所得の金額の計算上生じた損失の金額については、土地、建物等の譲渡による所得以外の所得との通算および青色申告の場合の翌年以後の繰り越しが廃止されました。また、譲渡所得も事業所得者の申告と同様に申告納税制

度をとっています。是非、自分で書いて郵送等で、できるだけお早めにお済ませください。

問い合わせ先

大島税務署
☎0997(52)4321
鹿児島税務署税務相談室
☎099(255)1084

「にせ税理士」にご注意

所得税並びに消費税及び地方消費税の確定申告の時期になりました。

決算書や申告書などの税務書類の作成等を依頼する場合は、その人が正規の税理士であるか、よく確かめましょう。税理士の資格のない人が税務代理や税務書類の作成、税務相談をすること(いわゆる「にせ税理士」)は、税法で固く禁じられています。



国民年金だより

国民年金保険料の納め忘れの期間があると、老後に受け取る年金が減額されたり、年金を受けられなくなる場合があります。また、老後を迎える前に病気やけがで障害の状態になった場合の障害基礎年金や、加入者が亡くなった場合に残された家族が受け取る遺族基礎年金についても受けられなくなる場合があります。

このような皆さんの年金権を確保するために、社会保険事務所では、納付期限を過ぎても保険料が納められていない場合に、「電話」や「ご自宅への訪問」により納付の案内を行っています。

電話での案内 社会保険事務所の職員や社会保険事務局が委託した民間業者から、電話で納付の案内をしています。

自宅への訪問 社会保険事務所の職員や国民年金推進員がご自宅にお伺いし、国民年金制度の案内や、保険料納付の相談などを行っています。

個人情報保護には万全の体制をとっております。また、夜間や休日にも電話や訪問する場合がありますので、ご理解とご協力をよろしく願いいたします。

次のとおり社会保険事務所の名称が変わりましたのでお知らせします。

旧名称：鹿児島社会保険事務局奄美大島事務所 新名称：奄美大島社会保険事務所

教育委員会のとびら

小野津小PTAが事例発表
喜界町PTA活動研究公開



親子で小野津獅子太鼓の演奏

でありながら、地域住民の協力も得てPTA活動を推進しており、県PTA連合会の重点運動項目の一つである「一家庭一家庭に積極的に」に積極的に

今年で三十二回になる「平成十七年度喜界町教育委員会委嘱PTA活動研究公開」が十一月二十六日(土)、小野津小学校体育館で開催されました。

オープニングでは小野津小学校児童と保護者による小野津獅子太鼓が勇壮に演奏され、大会を盛り上げました。

小野津小学校PTAでは、「いかなる困難にもくじけず、最後までやり遂げる強い信念と心身ともに健全な子どもを育成するPTA活動は、

「どうあればよいか」を研究主題として、取り組み内容の事例発表を行いました。
小野津小学校は、現在児童数十三人・PTA戸数九戸

取り組んでいる様子や、親子によるふれあい活動の実践映像等でわかりやすく発表しました。

小規模校ならではのPTA活動であり、他の学校への参考になる事例発表でした。指導助言では、町教委中尾

奨派遣社会教育主事が今年度、奄美大島PTA連絡協議会と大島教育事務局が推進している「学校・家庭・地域が一体となって家庭教育を支援する」家



町の家庭学習推進ポスター

庭教育60・90運動についての説明を行いました。
講演では、「喜界の子どもたちの可能性と島津斉彬に学ぶ人材育成」と題して、尾口

「参考になった」の声も / 生涯学習リーダー (初級) 研修会



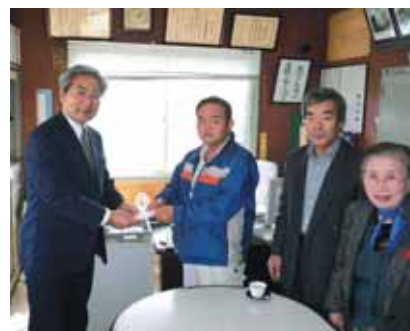
心肺蘇生法の研修

生涯学習リーダー (初級) 研修会 事務所齋藤一雄福祉課長、「青年団体活動に期待するもの」地域における青年の役割」を坂嶺小上椿久伸教頭、「人権教育」を県人権同和对策課川口博志課長補佐、「応急処置」初

義男喜界高等学校長が講演。喜界島に縁のある泉禎民氏や伊地知季安氏の功績紹介や最近の喜界高等学校の現状、進学関係の話をされました。

歩的な救命手当て」を消防署員、「危険予知トレーニング」を町教委中尾奨派遣社会教育主事が担当しました。参加者からは、「自分が大きく成長したような思いです。大変参考になるよい研修でした」との感想があり、参加者には、本研修会への参加の他、日常の各団体での活動を含めて初級指導者の認定を行いました。

スポーツ少年団活動に役立てて / 町商工会が



教育長室で贈呈式

町商工会が動費に役立ててほしいと寄付をしました。寄付は、地域振興と社会福祉への貢献が目的で、昨年度は新潟中越地震に寄付しました。

もちつき大会当日は、湾校区のスポーツ少年団員も臼と杵を使ってもちつきを手伝いました。

町商工会青年部・女性部が十二月二十日(火)、教育委員会を訪れ、先日行われたチャリティーもちつき大会の収益金の一部をスポーツ少年団の活

平成十八年度は、本町でスポーツ少年団の大島地区大会が開催されますので、寄付金を有益に使わせて頂きたいと考えています。

喜界歌壇

又ひとつ年を重ねむ老の日々
呆けてならじと機織る吾なり
有村 道子

新玉の年に命をつなぎゆく八
十路の船出に幸多かれと
竹田ヨシ子

露光る狭庭にいでて東雲の初
日に祈る地球に平和を
平尾 チヨ

元朝の陽は白砂敷く庭に映え
晴着の子等が手鞠撞きしを
弥島 幸子

初日の出世界の平和祈りつつ
拝む柏手二千六年
郡 市子

年明けてなお前向きに生きよ
うと胸深く誓う車いすの吾
美代 イシ

家族揃い正月過ぎす幸せを閉
じ込め月日とまれと願う
尾良ミノ子



よしまつ ちさと
吉松 千里ちゃん
(8歳1カ月)
りょうま
良将くん
(5歳10カ月)
ひろと
寛人くん
(4歳2カ月)

父=孝展 母=さつき 湾

わが家のおもしろ3人組は、本当によく遊び、よく食べて、元気に育ってくれています。3人仲良く遊ぶ姿には、親もうらやましいくらいです。いつも迷惑ばかりおかけしますが、温かく見守ってくださるご近所の皆様に、そっと感謝...。(母)

わが家のアイドル

戸籍の窓

12月届出

東雲のいる差しそめぬ新らし
き光りかがやく初日を拝す
林 蓮香

元日の朝日清しく静まりて新
しき年ほのと明けゆく
清沢 信也 湾

ちぎり絵に仔犬かたどり彩糸
の手鞠を添えて吾が干支仕上
げる
武田 幸子

嶺倉 祝子

基 なごみ 俊一 赤連

いつまでも
お幸せに

清沢 信也 湾

里 沙也加 湾

高橋 直樹 川嶺

宮城 美穂 城久

美島 秀人 湾

倉橋 香織 志戸桶

ごめい福を お祈りします

氏名 保護者 住所

淵脇 成 拓也 中里 湾

清沢 力斗 信也 湾

池 治 林 市子 80才

塩 道 萩原 武治 63才

城 久 城山カツエ 80才

浦 原 吉住 ウツ 107才

小野 津 池田三太郎 96才

荒 木 松岡 忠義 64才

荒 木 加島清太郎 97才

久保 誠治 64才

生活習慣病予防週間

(2月1日～7日)

肥満や糖尿病、がんなどの生活習慣病の患者数が年々増加しています。生活習慣病を予防するには、バランスのとれた食事や適度な運動、十分な休養といった健康的な生活が第一歩です。毎年2月1日～7日は「生活習慣病予防週間」。週間中は、さまざまな広報活動や関連行事などを通じて、国民一人一人に健康生活づくりの必要性を積極的に呼びかけます。

厚生労働者

.....喜界町の推計人口.....

(平成17年12月31日現在)

世帯数.....3,813戸(+3)
人口.....8,521人(-1)
男.....3,976人(±0)
女.....4,545人(-1)
——()は前月比——

香典返し

社協だより

坂 嶺 奥 72才
荒 木 山元 芳山 87才

中 里 植村 トキ
埼玉県 平田 嘉郎
上嘉鉄 作井 数子
白 水 勇 たま江
中 里 野間 直忠
阿 伝 吉川 久則
手久津久 前泊 武子
先 山 吉住 澄隆
早 町 松坂 祐一
小野 津 池田 学
湾 松岡ヒサ子



八万通の年賀状の
配達に、いざ出発



初詣で



元旦駅伝

新春の 喜界島



見事フルマソン完走
した志戸桶出身の浜田
光司さん(大阪)



成人式

